資料３

岩手県文化芸術振興指針の実施効果の随時検証について

【趣旨】
岩手県文化芸術振興指針（改訂版）において実施することとされている随時評価について、項目ごとの評価方法等を定めようとするもの。

【背景】　☞別添

岩手県文化芸術振興指針（改訂版）では、計画期間満了時に目指すべき状態を「５年後の姿」とし、達成すべき目標を設定している。

さらに、予め主な評価項目を定め、計画期間途中において随時実行状況の検証を行い、進捗状況が思わしくない項目に対する対策を臨機応変に講じることとしていることから、この随時検証の方法を定めようとするもの。

■岩手県文化芸術振興指針（改訂版）の実施効果の評価

〇岩手県文化芸術振興指針（改訂版）では、５年後の姿を描き、【５年で達成すべき目標】として、４つの施策方向で計２０項目の目標を設定

〇２０項目の目標は、期間満了時に実施効果の評価を行う

〇予め主な評価項目を定めることにより、期間途中においても随時実行状況の検証を行い、進捗状況が思わしくない項目に対する対策を臨機応変に講じることが大切

〇主な評価項目として、３１項目を設定

〇これらを評価するために、期間当初及び終了後において、現在の調査で不足する必要な調査を実施する

【評価方法（案）】

(1)　各項目の評価方法　☞別紙

各項目の評価に使用する指標や調査方法は、別紙のとおり。

(2)　検証時期と対応

検証は、前年度実績にかかる検証を翌年度に実施するものとし、検証完了後最初に開催される文化芸術振興審議会に対応方針とともに報告する。

Ⅴ　５年後の姿と実施効果の評価

前章では、「豊かさを感じ伝える國“いわて”」を実現するための「日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信」、「文化芸術と住民との交流支援体制の整備」、「豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援」、「文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成」の４つの施策方向に基づく取組を強化していくことが大切であることを述べていますが、ここでは、その取組の結果５年後にどのような状態になることを目指すのかを明らかにしています。

もとより、施策方向に基づく各種取組を着実に実行することが大切ですが、各取組を実行・検証するに当たり、常に目標とする５年後の状態を念頭に置き、さまざまに変化する岩手県内外の社会経済情勢に的確に対応できるよう、その時々で最良の方法を取ることが大切であると考えます。

１　５年後の姿

この指針は、５年後の姿として、現在よりも、地域の方々が岩手の文化芸術の豊かさをより実感し、その感銘が自らの文化・芸術活動や支援活動につながり、さらには現在活躍されている方々の励みとなる社会風土が強まっていることを目指します。

また、その豊かさを地域内外の人々や次の世代の方々に自発的に伝えることによって、地域の魅力が高まり、そこで生活している方々の地域への愛着が深まり、地域での支え合いの文化がより醸成されるとともに、地域外の方々からの評価が高まり、地域振興につながっていることも大切です。

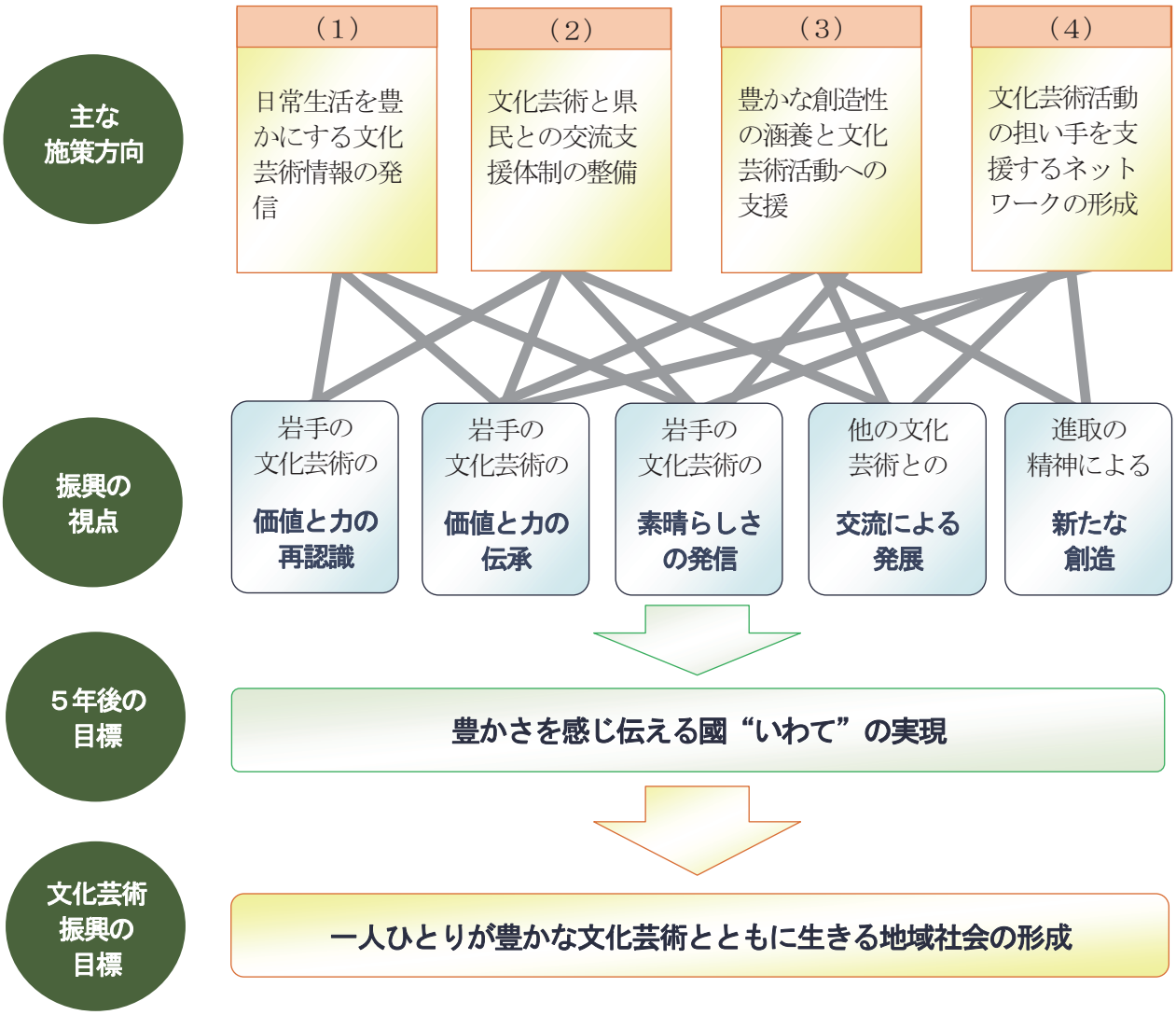
この指針の「豊かさを感じ伝える國“いわて”」は、この目指す状態を示しているものです。

上坊牧野の一本桜と岩手山
［八幡平市］

さんさ踊り［盛岡市］

毛越寺曲水の宴［平泉町］

御所野縄文公園［一戸町］



５年後の状態として「豊かさを感じ伝える國“いわて”」の実現を目指しますが、主な項目として次の実現を目指します。

【５年で達成すべき目標】

- 岩手の文化芸術情報に日常的に触れる環境が整備されている
- 地域の文化芸術活動等が広く紹介され、県民が参加先を容易に見つけ、選べる状態にある
- 地域の伝統文化、平泉の文化遺産を始めとした文化財及びそれらに込められた普遍的価値・理念等についての情報発信が効果的に行われている
- 伝統文化の映像記録を整備し、県民がより多くの伝統文化を鑑賞できる
- 県内外の人々に岩手の文化芸術の豊かさがより認識され、評価が高まるとともに、県外からの来県者が増えている

【主な手段】

施策方向（1）

日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信

優れた芸術鑑賞のアドバイスが行われ、理解が深まるとともに、鑑賞の機会が増えている

各地域において文化芸術活動が活発化し、活動者が増えている

文化芸術団体と地域（地域住民）との交流が活発化し、地域とのつながりが深まっている

文化芸術の発表及び鑑賞の場と機会が様々な世代の住民に与えられ、文化芸術を通じた地域振興が展開されている

施策方向（2）

文化芸術と県民との交流支援体制の整備

幼少期から優れた文化芸術を鑑賞・体験ができる機会が増えている

学校における文化活動が活性化し、より高い評価を受けている

伝統文化の発表の場が確保され、後継者の育成に寄与している

新進・若手芸術家が育つとともに、その発表の場が確保され、活用されている

県民の様々な世代において、平泉の文化遺産に対する理解と関心が深まっている

沿岸被災地において、民俗芸能活動、生活文化継承活動などが活発化し、文化芸術を通じた復旧・復興が進展している

施策方向（3）

豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援

文化芸術活動に必要な支援が受けやすく、その支援が増えている

文化芸術活動への社会の理解が深まり、より参加しやすい状況となっている

地域の各団体等に、文化芸術活動情報が広く伝わっている

多くの団体・活動者が各地域の文化芸術活動支援ネットワークに参画し、情報交換や協働が円滑に行われている

文化芸術以外の分野（観光、教育、福祉など）の団体・活動者との協力・協働による地域振興体制が確立されている

施策方向（4）

文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成

２　実施効果の評価

５年後の姿を実現できているかどうか、この指針の期間満了時に実施効果の評価を行うことが重要ですが、あらかじめ主な評価項目を定めることにより、期間途中においても随時実行状況の検証を行い、進捗状況が思わしくない項目に対する対策を臨機応変に講じることが大切であると考えます。

このため、この指針においては、次の各項目を実施効果を判定する主な項目として取り上げることとします。

なお、これらを評価するために、期間の当初及び終了後において、現在の調査で不足する必要な調査を実施することが必要です。

＜主な施策方向（１）＞
「日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信」　関係

ア　岩手の文化芸術に関するホームページ、ＳＮＳ（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、動画サイトなどが増え、あわせてフォロワーやアクセス数が増えているか

イ　行政広報誌・生活情報誌などで、岩手の文化芸術情報が広く提供されているか

ウ　文化芸術の映像記録が計画的に行われ、広く県民が活用できる状態にあるか

エ　文化芸術が個別ではなく、他の文化芸術、景観などと一体的に情報提供されているか

オ　平泉の文化遺産の構成資産などの文化財やそれらに込められた価値、理念について、市町村や関係団体等との連携及び協力により総合的に情報提供されているか

カ　生活文化分野における情報発信は、実践できるような紹介になっているか

キ　世界文化遺産登録、新規文化財指定件数などが増えているか

ク　文化芸術関係施設などへの入込数などが増えているか

＜主な施策方向（２）＞
「文化芸術と県民との交流支援体制の整備」　関係

ア　各広域振興圏の県文化芸術コーディネーターの活動実績が増えているか

イ　文化芸術の催事数が増えているか

ウ　各地域の文化芸術活動への参加者数・文化芸術活動団体数は増えているか

エ　各地域において、文化芸術を核とした地域振興体制ができているか

オ　若者等が日頃培った文化芸術を発表する機会や活躍の場が増えているか

カ　各地域において、アートマネージメント力向上に向けた取組（研修会の開催やアートマネジャー育成事業など）が行われているか

＜主な施策方向（3）＞
「豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援」　関係

ア　公共的支援資金の活用が増えているか

イ　学校教育における文化芸術鑑賞の機会が増えているか

ウ　新進・若手芸術家が育ち、県内外で新たに活動している者が現れているか

エ　地理的条件などによる不利益を解消する事業が展開され、鑑賞者数が増えているか

オ　学校教育において地域と連携した伝統文化への取組が強化されるとともに、活性化しているか

カ　地域の伝承活動を発表する機会が増えているか

キ　平泉の文化遺産に対する県民等の理解と関心が深まり、フォーラムなどの参加者数が増えているか

ク　沿岸被災地において、活動を再開している文化芸術団体や活動者は増えているか

ケ　学校教育や地域活動の中で、地域の景観への愛着や誇りを育むための取組・活動が行われているか

＜主な施策方向（4）＞
「文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成」　関係

ア　文化芸術活動に対する支援ネットワークが各地域でできているか

イ　各地域の文化芸術活動支援ネットワークに参画している団体数は増えているか

ウ　文化芸術団体と他の分野の団体による協働が行われているか

エ　文化芸術施設相互の連絡調整が強化され、より効果的な施設活用ができているか

オ　ＮＰＯ法人等、文化芸術の支援を行う団体が増えているか

カ　文化芸術活動への企業メセナが増えているか

キ　文化芸術活動への理解が深まり、雇用者等への勤務上の配慮が増えているか

ク　行政機関、住民、団体等が協働し、地域住民主体の景観形成・まちづくり活動が行われているか

資料３・別紙

文化芸術振興指針（平成 27 年３月改訂版）に定める実施効果の評価（随時評価）方法

施策	No.	評　価　項　目	評　価　方　法
日常生活を豊かにする文化芸術情報の発信	1	岩手の文化芸術に関するホームページ、ＳＮＳ、動画サイトなどが増え、あわせてフォロワーやアクセス数が増えているか	○文化施設、文化芸術団体など活動団体のホームページや SNS などの開設状況 ○県ホームページ「いわての文化情報大事典」訪問者数
	2	行政広報誌・生活情報誌などで、岩手の文化芸術情報が広く提供されているか	○県及び市町村広報誌における文化芸術情報の掲載件数
	3	文化芸術の映像記録が計画的に行われ、広く県民が活用できる状態にあるか	○県ホームページ「いわての文化情報大事典」の構成の定性的評価 （映像記録の掲載状況等の評価）
	4	文化芸術が個別ではなく、他の文化芸術、景観などと一体的に情報提供されているか	○県ホームページ「いわての文化情報大事典」の構成の定性的評価 （掲載情報の網羅性等の評価）
	5	平泉の文化遺産の構成資産などの文化財やそれらに込められた価値、理念について、市町村や関係団体等との連携及び協力により総合的に情報提供されているか	○岩手県の世界遺産保存活用に関する構成団体が実施する保存管理推進のための実施事業数 ○ホームページ「いわて平泉 世界遺産情報局」更新回数
	6	生活文化分野における情報発信は、実践できるような紹介になっているか	○県ホームページ「いわての文化情報大事典」の構成の定性的評価 （郷土料理のレシピや民謡の音源データ等、実践に資する情報掲載の評価）
	7	世界文化遺産登録、新規文化財指定件数などが増えているか	○世界文化遺産登録及び文化財指定等の件数
	8	文化芸術関係施設などへの入込数などが増えているか	○公立文化施設協議会加盟施設への入場者数調査

施策	No.	評　価　項　目	評　価　方　法
文化芸術と県民との交流支援体制の整備	9	各広域振興圏の県文化芸術コーディネーターの活動実績が増えているか	○県文化芸術コーディネーターへの相談件数
	10	文化芸術の催事数が増えているか	○県内の公立文化施設における催事数
	11	各地域の文化芸術活動への参加者数・文化芸術活動団体数は増えているか	○市町村芸術文化協会等への調査 ○公民館等における文化芸術活動に関する講座数及び参加者数 ○岩手県障がい者文化芸術祭の出展数及び来場者数
	12	各地域において、文化芸術を核とした地域振興体制ができているか	○県文化芸術コーディネーターによる地域イベント等と文化芸術団体のマッチング件数
	13	若者等が日頃培った文化芸術を発表する機会や活躍の場が増えているか	○「いわて若者文化祭」に出演・出展し、交流を行った人数
	14	各地域において、アートマネージメント力向上に向けた取組（研修会の開催やアートマネジャー育成事業など）が行われているか	○アートマネジメント研修の開催回数及び参加者数

施策	No.	評　価　項　目	評　価　方　法
豊かな創造性の涵養と文化芸術活動への支援	15	公共的支援資金の活用が増えているか	○文化振興基金等主要助成制度の助成件数
	16	学校教育における文化芸術鑑賞の機会が増えているか	○文化振興基金助成事業「いわての芸術家等派遣事業」の派遣学校数 ○文化庁及び青少年文化センター等における芸術事業の実施学校数
	17	新進・若手芸術家が育ち、県内外で新たに活動している者が現れているか	○市町村芸術文化協会等への調査 ○文化振興基金における新進・若手芸術家支援関係の事業実績
	18	地理的条件などによる不利益を解消する事業が展開され、鑑賞者数が増えているか	○青少年劇場（へき地指定３級以上を対象）及び同種地域で開催する文化振興基金等主要助成事業の鑑賞者数
	19	学校教育において地域と連携した伝統文化への取組が強化されるとともに、活性化しているか	○伝統芸能の取組を実施している小学校割合
	20	地域の伝承活動を発表する機会が増えているか	○岩手県民俗芸能団体協議会の会議等において、地域における発表機会の状況を聴取
	21	平泉の文化遺産に対する県民等の理解と関心が深まり、フォーラムなどの参加者数が増えているか	○各種県民向けのイベント（平泉世界遺産の日シンポジウム、平泉文化フォーラム、平泉町などが主催する関連イベント）への参加者数
	22	沿岸被災地において、活動を再開している文化芸術団体や活動者は増えているか	○沿岸被災地の市町村芸術文化協会等への調査
	23	学校教育や地域活動の中で、地域の景観への愛着や誇りを育むための取組・活動が行われているか	○重要文化的景観選定地域の保存調査委員会の会議等において、地域における活動状況を聴取

施策	No.	評　価　項　目	評　価　方　法
文化芸術活動の担い手を支援するネットワークの形成	24	文化芸術活動に対する支援ネットワークが各地域でできているか	○文化芸術活動支援ネットワーク会議の開催回数
	25	各地域の文化芸術活動支援ネットワークに参画している団体数は増えているか	○文化芸術活動支援ネットワーク会議の参加者数
	26	文化芸術団体と他の分野の団体による協働が行われているか	○観光・産業イベント等における文化芸術団体の活用状況
	27	文化芸術施設相互の連絡調整が強化され、より効果的な施設活用ができているか	○文化芸術施設の連携状況 ○文化芸術活動支援ネットワーク会議への文化芸術施設の参加状況
	28	ＮＰＯ法人等、文化芸術の支援を行う団体が増えているか	○県内に主たる事務所を置く「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO法人数
	29	文化芸術活動への企業メセナが増えているか	○商工会議所等へのヒアリングや企業メセナ協議会の調査等を基にした動向把握
	30	文化芸術活動への理解が深まり、雇用者等への勤務上の配慮が増えているか	○「企業・事業所行動調査」（岩手県政策地域部において隔年実施）における「従業者が行う文化芸術活動への支援」の状況
	31	行政機関、住民、団体等が協働し、地域住民主体の景観形成・まちづくり活動が行われているか	○街並み等地域の文化資源を活用した地域づくり活動の概況把握 ○景観づくりに取り組む地区数